

令和5年度

自己点検・自己評価報告書（学校関係者評価）

- 1 日 時 1回 学校関係者評価委員 令和5年5月22日（火） 14時30分
2回 学校関係者評価委員 令和6年2月13日（火） 16時00分

2 会 場 静岡県東部総合美容専門学校 応接室

3 委 員 令和5年度学校関係者評価委員名簿

令和5年度学校関係者評価委員名簿

	委 員	氏 名	所 属
1	元公立高校校長	高田 道雄	
2	地域住民	鳥居 正浩	公立中学校 学校支援地域本部コーディネーター
3	地域住民	永倉 えり子	キャリアコンサルタント フリーランス
4	卒業生	峯 知美	沼津市 辻写真館 勤務・美容師
5	保護者	櫻井 由美子	ネイリスト
	(本校職員)		
	常任顧問	安藤 宏通	
	校長	増田 一也	
	教頭	白石 美和子	
	(事務長)	橋本 仁宏	

令和5年度学校自己点検・評価表(2022モデル Ver. 2.1J簡略化版)評価の根拠 自己評価+エビデンスに重み付け=評価点

実施日: 内部監査委員評価 令和5年 8月7日 自己評価 令和6年1月5日

学校名: 静岡県東部総合美容専門学校

1. 学校の教育目標

- I 経営の目的 「学生の幸福を追求し、挑戦する心を育てる」
- II 建学の精神 確かな技術・創造の喜び・心のふれあい
- III 教育目標 「豊かな教養、確かな技術、社会への貢献」

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- IV 重点目標
 - ① 学校改善計画を作成し、改善の方向性を見える化し、校内で共有する
 - ② 授業改善に取り組み、授業の質を向上する
 - ③ 外部評価システムの考えを導入し、客観的な視点を取り入れた学校改革に取り組む
- V 経営目標
 - ① 80人の入学者を目指し、個々のニーズに寄り添った募集活動を展開する
 - ② 100%の美容師国家試験合格のための方策を見出し、実施する
 - ③ 100%の就職率(就職決定者/就職希望者)
 - ④ 20%の大会入賞者
- VI 生活目標
 - ① 整理・整頓・清潔 ② 笑顔で挨拶、ありがとう

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	評価点	重み等	対象	エビデンスと教職員自己評価		第三者評価				
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や方針、内容等が盛り込まれているか)										
1	1	1	A	④	3	2	1	##	4	4	エビデンス	適合コメント	
1	1	2	A	④	3	2	1	4.0	4	4	エビデンス	適合	
1	1	3	B	④	3	2	1	##	3.5	3.5	全員	・「豊かな教養」を念頭に教育活動を行ったか。	適合
										3.5	全員	・「確かな技術」を念頭に教育活動を行ったか。	
										3.4	全員	・「社会への貢献」を念頭に教育活動を行ったか。	
										3.6	教員	・指導内容、指導方法の工夫改善を目指したか。	
										3.3	教員	・国家試験全員合格を目指し、工夫改善を行ったか。	
										3.5	全員	・生活目標「整理・整頓・清潔」の指導を積極的に勧めたか。	
4.0	0.8	4	エビデンス	・生活目標「笑顔・挨拶・感謝」の指導を積極的に勧めたか。									
1	1	4	B	④	3	2	1	4.0	4	4	エビデンス	適合	
1	2	中項目	教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)										
1	2	1	A	④	3	2	1	4.0	4.0	4	エビデンス	適合	
1	2	2	A	④	3	2	1	4.0	4	4	エビデンス	適合コメント	
1	2	3	A	④	3	2	1	4.0	4	4	エビデンス	適合	
①	努力点と課題		・しっかり清掃ができる学生とそうでない学生に、しっかり清掃をするようけいめをつけるにはどうするか、指導の工夫を考えたい。 ・周知や情報の共有が必要なので、デスクネットや打合せ等だけでなく、できるだけ関係職員とのコミュニケーションを心がけた。 ・工夫改善をしたいと考えてはいるが、時間に追われ出来ずにいた。時間の無い中考える時間を作る工夫をしたい。 ・学生への指導で、指示するだけでなく、自分から行動し姿勢を見せるように心がけた。 ・学生に要点が伝わりやすい指導を心がけた。 ・国家試験課題練習の工夫はできたが、整理整頓の指導徹底が甘かった。 ・みんなが良いと思えるような、授業の資料を用意することを、一層がんばりたいです。 ・新たな学習プリントの制作をしたが、もう少しわかりやすく重要なポイントを記入しやすくスリム化を目指したい										
	関係者評価委員の意見		・常に教育理念や経営目標を周知するように、管理職が会議のたびに呼びかけることが大切。 ・清掃指導の仕方について、指導の工夫について言及しているところが素晴らしい。 ・なぜ清掃をするのか、しなればならないのかなど、理由や清掃の順番を考えさせて指導することが大切であり、発展性がある。										

2 学校運営		カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1								エビデンス			
2	1	中項目	運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)											
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	B	④	3	2	1	3.4	3.0	3.0	全員	・学校の運営方針を知っている	
										4	0.8	4	エビデンス	適合
2	2	中項目	事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)											
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	④	3	2	1	3.3	2.8	2.8	全員	・学校の事業計画を知っている	
										4	0.8	4	エビデンス	適合
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
2	3	中項目	運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)											
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0	4	4	エビデンス	適合
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	④	3	2	1	3.5	3.2	3.2	全員	校務分担表に基づき校務を行っている	
										4.0	0.8	4	エビデンス	適合
2	3	3	組織機能図があるか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合
2	3	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか	B	④	3	2	1	3.6	3.3	3.3	全員	・職員会議・打合せで、必要事項が共有化される	
										4.0	1	4	エビデンス	適合
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	④	3	2	1	3.7	3.4	3.4	全員	デスクネットのタイムカードを忘れずにチェックしているか。	
										4.0	1.2	4	エビデンス	適合
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	④	3	2	1	3.7	3.5	3.5	全員	・健康診断の結果で再検査を受けたり治療をするなど活かそうとしている	
										4.0	0.8	4	エビデンス	適合
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合
2	4	中項目	教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか)											
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	④	3	2	1	3.7	3.4	3.6	教員	検定への取り組みに力を入れている	
										3.1	教員	授業アンケートを実施し、活用している		
										4	1.2	4	エビデンス	適合
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
2	4	5	全ての教員(専任・兼任)に対して、当該学習分野又はスキル分野に関する必要なコンピテンスを有しているかを評価し、それらの評価結果を記録しているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合 コメント
2	4	6	教員・講師は、経験を有し、日本国内において認知されている教授資格を持っている、又は認知されている講師養成訓練を受けているか	J	④	3	2	1	3.7	3.4	3.4	全員	研修会に積極的に参加している	
										4	1.2	4	エビデンス	適合
2	4	7	教員・講師に対して、ニーズ分析の結果に関する情報を十分に知らせているか(学生のニーズ、求人企業のニーズ等)	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合

2	4	8	代講が必要な場合、適格な教員・講師が対応できるように手配し、当該教員・講師に授業の準備及び実施について指導しているか	J	④	3	2	1	4.0	4	4	エビデンス	適合	
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	④	3	2	1	3.8	3.5	3.5	全員	新たな研修に取り組んだ	適合 コメント
										4	1	4	エビデンス	
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	A	④	3	2	1	3.9	3.8	3.8	教員	新しい技術等の情報を取り入れようと努力しているか	適合 コメント
										4	1	4	エビデンス	
2	4	23	教育の成果(学修結果)に基づく教員面接を実施しているか	B	4	③	2	1	3.2	3.3	3.3	教員	・管理職と検定やコンテストなどの教育成果について話をした	適合
										3	0.8	3	エビデンス	
2	4	24	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	④	3	2	1	3.8	3.7	3.7	教員	実務や指導力向上のための研修に取り組んだ	適合
										4	0.8	4	エビデンス	
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか(教職員研修計画の作成)	B	4	③	2	1	3.3	3.6	3.6	全員	研修計画に沿って、専門能力開発のための研修に参加した	適合
										3	1	3	エビデンス	
2	4	31	教員・講師に対して、学習指導のための教育訓練や教材の利用についての訓練を実施しているか	J	4	③	2	1	3.0	3		3	エビデンス	適合 コメント
2	4	32	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	J	④	3	2	1	3.8	3.7	3.7	全員	防災訓練に参加した	適合
										4	0.8	4	エビデンス	
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
2	4	43	事務職員(学習サービスの提供に関わる教員・講師以外の職員)は、自らの職務をやり遂げるために必要なコンピテンス及び適格性を有しているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合 コメント
2	5	中項目	人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか)											
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	③	2	1	3.0	3		3	エビデンス	適合
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
2	6	中項目	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)											
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか(情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか)	A	④	3	2	1	3.7	3.5	3.5	全員	・デスクネットを有効に使用し、仕事の効率化が図られた	適合
										3.5	3.5	全員	・共有フォルダーや既存のファイル等を利用して業務の効率化を図ろうとしたか	
										4	0.8	4	エビデンス	
②			努力点と課題	<ul style="list-style-type: none"> 共有できるものは出来るようにdataフォルダ等使用したが、中々きちんと確認する時間が取れず、不安を残しながらの業務になってしまった。 実習教員での打合せ内容が共有できていない時があった。 広報活動にも支障が出るため、決定内容の報告は早めに知っておきたかった。 デスクネットを有効に使えているのか疑問が残るので、もう少しシステムの理解をしていきたい。 事業計画はもう少し知る努力をしたい。研修は努力をしていると思う。 実習教員間、座学教員間での会議を定期的に行いたい。 賞金規程を知りたい。 SBSエステティック検定は、何とか1級合格となりほっとしている。引き続き3月の研修までの間、できる限り自主練習に務める。 										

																			<ul style="list-style-type: none"> ・管理職が、運営方針等をかみ砕いて全体の場で徹底する。 ・職員の共通理解や共通認識を保つための、時間の使い方の工夫が必要。 ・講師と実習教員との連携は、LAIN等を使用して共通理解や認識を図っていく方法もやってみると良い。 ・「共有」という言葉の意味合いを全員で図り、心に落ちると言うことからここにあるという程度に引き下げていく必要がある。 ・「共有」という言葉は職員の負担感を増加させる傾向もある。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3 教育活動		カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1																エビデンス	
3	1	中項目	目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか)																	
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	④	3	2	1	3.6	4	3.1	3.1	4	1.2	4	全員	カリキュラムポリシーを意識している	エビデンス	適合	
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	④	3	2	1	3.8	4	3.6	3.6	4	0.8	4	全員 教員 教員	・教育活動が、国家試験の合格率上昇とコンテスト等の入賞者増加につながったか。 ・教務日誌への記入を適切に行ったか。 ・授業時数の確保をしたか。自習時間がないような工夫がされたか。	エビデンス	適合 コメント	
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	④	3	2	1	4.0	4					4			エビデンス	適合	
3	2	中項目	教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか)																	
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	④	3	2	1	4.0	4					4			エビデンス	適合	
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	④	3	2	1	3.7	3.1	3.1	4	1.2	4	教員	シラバスの内容を見直しながら作成した	エビデンス	適合		
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	④	③	2	1	3.0	2.9	2.9	3	1.2	3	教員	コマシラバスを作成するか、作成の準備をした	エビデンス	適合 コメント		
3	2	4	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか	B	④	③	2	1	4.0	4					4			エビデンス	適合	
3	2	5	授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。また学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図っているか	C/J	④	3	2	1	3.4	3.0	3.0	4	0.8	4	教員	・シラバスに基づき授業を実施した	エビデンス	適合 コメント		
3	2	9	シラバス(作成されていればコマシラバス)には到達目標が記載されているか(Can-Doを意識した到達目標の明示)	J	④	3	2	1	3.6	3.0	3.0	4	1.2	4	教員	コマシラバスについて、更に学びたい	エビデンス	適合 コメント		
3	2	10	学習サービスの設計時に、予定しているモニタリング及び評価の手順を明確にしているか	J	④	3	2	1	3.8	3.5	3.5	4	1.2	4	教員	適切な評価となるよう心がけたか	エビデンス	適合 コメント		
3	2	11	実技・実習が講義と連動していたり、講師と学習者の比率をカリキュラム設計時に考慮するなど、効果的学習に配慮されているか	J	④	3	2	1	3.7	3.1	3.1	4	1.2	4	教員	・美容技術理論と実習の連携を図った	エビデンス	適合 コメント		
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か)	A	④	③	2	1	3.2	3.4	3.4	3	1.2	3	教員	・学生の授業アンケートの結果を活かそうとしているか	エビデンス	オブザ ベーション		
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	④	③	2	1	3.0	3.3	3.3	3		3	教員	学生アンケートの結果を活用したか	エビデンス	適合 コメント		
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)	B	④	3	2	1	3.7	3.3	3.3	4	1.2	4	教員	面談の結果を活かそうとしたか	エビデンス	適合 コメント		
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	④	3	2	1	3.8	3.6	3.6	4	0.8	4	教員	面談の結果を活かそうとしたか	エビデンス	適合 コメント		

										3.3	3.3	教員	検定結果やコンテスト結果など学修成果の結果を活かそうとしたか	
3	2	25	質保証を目的とした授業の評価にあたり、アセスメント結果(学修成果)のレビューを取り入れているか(アセスメント結果を、当初の目標と比較して評価しているか)	J	④	3	2	1	3.7	4	1.2	4	エビデンス	適合コメント
3	2	26	カリキュラムを設計又は見直す際に、過去に提供した類似の学習サービスに関する評価の結果を考慮しているか	J	4	③	2	1	3.0	3		3	エビデンス	適合
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか(カリキュラム作成委員会等)	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合コメント
3	2	43	カリキュラム設計及び開発の経験を有している、もしくは訓練を受けたファシリテーターなどが、カリキュラムの設計及び開発を担当しているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
3	2	61	学習教材は、学習内容の実際の有用性を考慮した実践的かつ最新のものであり、社会的ニーズ、文化的ニーズ及び学習者の背景を考慮して選択されているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
3	2	62	少なくとも年1回、カリキュラム、学習教材及びアセスメント教材の見直しを行っているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
										3.4	3.4	教員	著作権について意識して授業等を実施した。	
3	2	63	学内で使用又は開発した学習リソース(資源)の出典及び著作権について、適正に処理できているか	J	4	③	2	1	3.2	3	1.2	3	エビデンス	
3	2	64	教員・講師及び学習者に対して、印刷教材・電子教材の複写及び利用に関する規則について情報提供しているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合コメント
										3.0	3.0	教員	TOEP、特別授業に関わるよう努めた	
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	④	3	2	1	3.6	4	1.2	4	エビデンス	適合
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合コメント
										3.3	3.3	教員	授業で企業・団体等と連携した	
3	2	83	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	④	3	2	1	3.7	4	1.2	4	エビデンス	適合
3	2	84	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
3	3	中項目	成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか)											
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合コメント
3	3	2	学生や保証人(保護者)に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
3	3	4	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
3	3	6	アセスメントの結果は、公平性、透明性及び守秘義務の原則に鑑みて、確立された権限又は正当な承諾を得た者のみ閲覧可能とされているか(閲覧制限)	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)											
										3.8	3.8	教員	・資格の取得に積極的に取り組んだか	
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	A	④	3	2	1	3.9	4	1.2	4	エビデンス	適合コメント

3	5	中項目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)															
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	④	3	2	1	3.6	4	1.2	4	教員	・東美キャリア教育プログラムの時間を有効に活用したか				
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	④	3	2	1	3.7	4	1.2	4	教員	・職業講話、分野別ガイダンス等に積極的に参加している				
3	5	42	学習参加の前提としているスキルや要件などに不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	J	④	3	2	1	3.7	4	1.2	4	教員	・授業の前提となる学力を把握するよう努めているか				
③			努力点と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・検定対策として実技内容をまとめた資料の作成した。また、希望者へ放課後練習を行った。放課後練習は希望者のみではなく、今後は全体への呼びかけをしていきたい。 ・TCEPの時間を改善するために、できるだけ積極的な提案をしていきたい。 ・シラバスに基づき授業、検定等取り組めたが、コマシラバスについてはもう少し知る努力をしたい。 ・授業の進め方、テストの形式等について教員間ですり合わせをし、統一出来る箇所をもっと整えていきたい。 ・授業アンケートを実施し、授業に活かしたが、Tcepへの関わりが薄かった。TCEPの授業にも積極的に参加するようにしていきたいです。 														
			関係者評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・実習教員のプロジェクトの実践が、高い評価を得ている。 ・国試対策では、学習の形態(教え合い学習やペア学習、習熟度別学習等)の効果が上がっているように感じる。 ・テストの形式については、国家試験同様マークシート式に変更をしていくように努めてほしい。 ・職業人と育てるためには、TCEPの時間は非常に重要ではないかと思われる。充実させることを願いたい。 														

4 学修成果・教育成果				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1										エビデンス	
4	1	中項目	学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか)													
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	教員	・授業を開始するにあたり、必要な学力(技術)を把握するよう努めているか		
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か)	B	4	③	2	1	3.0	3		3	教員	・授業を開始するにあたり、必要な学力(技術)を把握するよう努めているか		適合 コメント
4	1	3	コースの開始前又は開始時に、学習する内容に関して学習者が有するコンピテンスのレベルについて、アセスメントを行っているか	J	④	3	2	1	3.7	4	1.2	4	教員	・授業を開始するにあたり、必要な学力(技術)を把握するよう努めているか		
4	1	4	要請があった場合には、学習者又はスポンサーに対して、a) 学習サービスの名称及び目的やb) 指導時間数、c) 達成度などの情報を含む修了証明書を提供しているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	教員	・授業を開始するにあたり、必要な学力(技術)を把握するよう努めているか		
4	2	中項目	就職率(就職率の向上が図られているか)													
4	2	1	就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)	A	④	3	2	1	3.6	2.9	2.9	4	関係者	・就職情報を担当と共有しようとしたか		
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	A	④	3	2	1	3.6	2.9	2.9	4	関係者	・共有フォルダーの就職情報を活用しているか		
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	教員	・就職情報を担当と共有しようとしたか		
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等)	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	教員	・就職情報を担当と共有しようとしたか		
4	3	中項目	資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)													
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)	A	④	3	2	1	3.9	3.7	3.7	4	教員	・資格・検定の取得率を上げるために指導の工夫をしているか		
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	④	3	2	1	3.8	3.4	3.4	4	教員	・資格・検定の取得率の目標を設定したか		
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	④	3	2	1	3.6	3.0	3.0	4	全員	・共有フォルダーの資格取得率を参考にしているか		

4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	④	3	2	1	3.7	3.1	3.1	4	1.2	4	教員	・資格・検定の結果に対して検証と報告がされたか	適合
4	3	5	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4		4	教員	・卒業生の動向を知るために情報収集しようとしたか	適合
4	4	中項目	社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)							2.8	2.8				教員	・卒業生の動向を知るために情報収集しようとしたか	
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	A	④	3	2	1	3.5	4	1.2	4	1.2	4	教員	・卒業生の動向を知るために情報収集しようとしたか	適合
④ 努力点と課題				<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に連絡を取り合う卒業生に関する情報は、共有するように努めた。 ・担当者との情報共有が必要なので、更に共有するよう努めたい。 ・卒業生との関わりをもつ努力をしたい。 ・Instagram等SNSを利用し卒業生の動向を把握した時は、就職担当に伝えることができた。 ・就職状況など知らないことも多いので、情報の把握をするよう工夫していきたいです。 													
関係者評価委員の意見				<ul style="list-style-type: none"> ・質問項目について、もう少し詳細な説明があると職員にもわかりやすくて良いと思われる。 ・学修の成果・教育成果の部分は、概ね良好であると感じるため、今後も良好であるように努めてほしい。 ・全体として、評価を点数化することで問題点がわかりやすくなったのではないかと感じる。素晴らしいシステムだと思う。 													

5 学生支援										カテゴリー		適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1						エビデンス	
5	1	中項目	修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか)																
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	④	3	2	1	3.6	3.0	3.0	4	1.2	4	関係者	・学生に関する履歴を残そうとしたか	適合		
5	2	中項目	就職等進路指導(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)																
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またそれはきちんと学生や保証人(保護者)に周知されているか)	A	④	3	2	1	4.0	4		4		4	関係者	・学生に関する履歴を残そうとしたか	適合		
5	3	中項目	学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)																
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	A	④	3	2	1	3.3	2.8	3	4	0.8	4	関係者	・問題行動防止のため、日頃から指導できたか	適合 コメント		
										3				関係者	・学生を理解しようとしたか。				
										3				関係者	・一人一人の学生を生かした学級経営を工夫できたか				
										3				関係者	・学生相談に関する体制を活用したか				
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	④	3	2	1	3.4	2.6	2.6	4	1.2	4	関係者	・面談の記録を残したか	適合		
5	4	中項目	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか)																
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4		4	教員	・健康診断の結果を学生に指導したか	適合		
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	A	④	3	2	1	3.4	2.6	2.6	4	1.2	4	教員	・健康診断の結果を学生に指導したか	適合		
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	3.6	3.0	3.0	4	1.2	4	関係者	課外活動をボランティア活動の一面を持つことを学生に伝えているか	適合		
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	A	④	3	2	1	4.0	4		4		4	関係者	課外活動をボランティア活動の一面を持つことを学生に伝えているか	ストリングポイント		
5	4	45	学習に関する要望、学習に関する要望を取り巻く状況及び通学の障害となる要因(距離や費用等)を理解し、解決に向けた提案を行っているか	J	④	3	2	1	3.8	3.4	3.4	4	1.2	4	教員	・学生の学習に関する要望・意見を聞こうとしたか	適合		
5	5	中項目	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)																
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	A	④	3	2	1	4.0	3.1	3.1	4	1.2	4	関係者	・退学防止のための指導を工夫したか	適合		
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	④	3	2	1	3.7	3.1	3.1	4	1.2	4	関係者	・退学防止のための指導を工夫したか	適合		

5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	④	3	2	1	3.5	2.8	2.8	関係者	・退学率の低減に向けて、スクールカウンセラー活用や学生指導を心がけたか	適合
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	④	3	2	1	4.0	4	1.2	4	エビデンス	適合
5	6	中項目	保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)											
5	6	1	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
5	6	2	保証人(保護者)との計画的な相談会・面談を行っているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
5	7	中項目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)											
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	B	④	3	2	1	3.2	2.6	2.6	関係者	・卒業生の就職状況の聞き取りや再就職の相談等を積極的にしているか	適合
5	7	21	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか(卒業生への講習・研修を行っているか)	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	④	3	2	1	3.3	2.8	2.8	関係者	・専門実践教育訓練給付制度があることを、既卒者に知らせた	適合
⑤	努力点と課題			<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に連絡を取り合う卒業生からの再就職相談に乗っている。 ・卒業生との関わりを、更にもつ努力をしたい。 ・学生指導、学級運営等の教育に関する知識が薄いので学びたい。 ・退学希望者にスクールカウンセラーを勧めたが、退学防止に繋げることができなかった。スクールカウンセラーとどのような連携をしていくと効果的かを考えていきたい。 ・学生に声をかけることを意識したので、これからも表情をみて声かけをしていきたいです。 ・卒業生へのコンタクトはほぼないため、来校した際は、情報収集に努める。 ・健康診断の事後指導は、担任任せになってしまったため、システム化を考えていきたい。 										
	関係者評価委員の意見			<ul style="list-style-type: none"> ・卒業した後の学生との結びつきがあるのは、素晴らしいことだと思う。 ・学生支援は本校のストロングポイントとなっており、今後も継続してほしい点と思われる。 ・学生相談に関わる項目が、やや評価点が低い。個別の学生への更なる対応が必要だと感じられる。 ・相談しやすい環境や迅速な対応が可能になる態勢を構築したい。 ・通信生の高等学校からの入学者が多くなり、SCとの連携や個別対応が今後の課題になることが予想される。 										

6 教育環境				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1								エビデンス	
6	1	中項目	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)											
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	④	3	2	1	3.6	3.4	3.4	全員	・備品や機材等を積極的に使おうとしているか	適合
6	1	5	学習環境として外部組織が管理する施設・設備を用いる際には、必要となる最小限の要件を特定し、提示しているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
6	1	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	④	3	2	1	3.7	3.2	3.2	全員	・生活目標の「整理・整頓・清潔」を意識して指導しているか	適合
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的または適宜行っているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備していますか)											
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合

6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	④	3	2	1	3.6	3.1	3.1	全員	・就業規則「第4章 服務規律」を読んだか	
										4	1.2	4	エビデンス	適合
6	3	中項目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)											
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	④	3	2	1	3.8	3.5	3.5	全員	防災訓練等の自分の役割を把握しているか	
										4	1.2	4	エビデンス	適合
6	3	2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	A	④	3	2	1	3.6	3.0	3.0	全員	・校内の消火器等の場所を把握しているか	
										4	1.2	4	エビデンス	適合
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	④	3	2	1	3.8	3.5	3.5	全員	・防災訓練・防災指導に積極的にかかわったか	
										4	1.2	4	エビデンス	適合
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	B	④	3	2	1	3.6	3.0	3.0	全員	安全管理について意識して校内を見ているか	
										4	1.2	4	エビデンス	適合
⑥	努力点と課題			<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理について再確認する時間を取りたい。 ・ウィッグの置き場所の確保するためにどのような工夫ができるか、自分なりの提案をしていきたい。 ・安全管理、清掃指導はしているが、防災に関してもう少し知る努力をしたい。 ・災害時の対応をもっとしっかり把握しなければならない。 ・防災訓練には積極的に参加したが、安全管理の意識が低かった。 ・防災関係はそんなに自分事として捉えていなかったため、意識を変えて行きたいです。 ・校内点検は、月一回・大掃除で実施したため改善できたと思う。 ・故障箇所などその都度報告しているが、老朽化が目立つため、危機管理意識は、常にもつ必要があると思っている。 										
	関係者評価委員の意見			<ul style="list-style-type: none"> ・今後は物理的な施設面と人材の確保が必要となってくる。ハード面、ソフト面共に整備することを考えてほしい。 ・校内の故障や破損の点検については、学生アンケート等で細部まで把握したい。 ・防災関係では、学生教師共に常に高い意識を持ってほしい。 ・日常生活の環境を、新たに防災という観点から見直していく必要があると感じる。 										

7 学生の受入れ募集													エビデンス	
カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1													
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)											
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
7	1	2	入学受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか	A	④	3	2	1	3.8	3.5	3.5	全員	アドミッションポリシーを理解している	
										4	1.2	4	エビデンス	適合
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	④	3	2	1	3.7	3.2	3.2	全員	3ポリシーについて理解している	
										4	1.2	4	エビデンス	適合
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	④	3	2	1	3.8	3.5	3.5	全員	・学生募集活動は、適正に行われているか	
										4	1.2	4	エビデンス	適合
7	1	6	学校運営責任者の情報や、教員・講師の適格性・経験などの情報を提供しているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	④	3	2	1	3.7	3.2	3.2	全員	・入学に関する問い合わせを、速やかに正確に処理しているか	
										4	1.2	4	エビデンス	適合
7	1	22	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか	A	④	3	2	1	3.8	3.5	3.5	全員	体験入学等で積極的に情報提供をしているか	
										4	1.2	4	エビデンス	適合 コメント
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
7	1	25	学習者の満足度に関するフィードバックを入手する手順、並びに彼らの要求、提案及び苦情に対応する手順など、学校生活での支援体制について入学前に伝えているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
7	1	26	教授資格、教歴及び背景など、授業や実習を担当する教員・講師のプロフィールについて、オープンキャンパスなどで紹介しているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
7	1	27	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合 コメント

7	1	41	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、オリエンテーションなどで学校側の義務と責任を学生と保証人(保護者)に案内しているか	C/J	4	③	2	1	3.0	3		3	エビデンス	適合
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)											
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選考を行っているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
7	2	5	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合 コメント
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)											
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合 コメント
7	3	6	学習者又はスポンサーから要請があった場合には、支払の証明を提供しているか	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
⑦			努力点と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は高校訪問の回数を増やしていきたい。 ・学生募集に関することなど、担当者だけでなく、全員体制で対応できるようにしていきたい。そのため、共通理解をする場面や説明等担当者以外にもうけもつ事も考えていきたい。 ・体験入学に来た方たちには話をしたが、もう少し問い合わせなどにスムーズに答えていけるようにしたい。 ・アドミッションポリシーの理解をより一層深めて行きたいです。 ・体験入学での質問などに答える程度なので、質問に的確に答えられるようにしていきたい。 ・入学生の確保を、全員が意識して進めていきたい。 ・ISOを取得できたことで、保護者や外部の人は、学校のレベルがわかりやすくなると思う。1年後、2年後と年を追うごとに数値の変化に期待したい。 										
			関係者評価委員の意見											

8 教育の内部質保証システム				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1						エビデンス			
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか)											
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	④	3	2	1	3.7	3.2	3.2	全員	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	適合
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	2	中項目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)											
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	3	中項目	4											
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか(自己点検・評価報告書があるか)	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	3	8	評価の範囲、目標、根拠、基準、方法及びスケジュールを含む、モニタリング及び評価の手段などを考慮し、モニタリング及び評価のプロセスを設計しているか	J	4	③	2	1	3.0	3		3	エビデンス	オブザベーション
8	3	9	適切な評価体制を有し、学校評価(学習サービスの評価)が実施されているか(適格者によるモニタリング及び評価を実施できているか)	J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合

8	4	中項目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)																	
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか							A	④	3	2	1	3.8	3.5	3.5	全員	・自己点検・評価の必要性について理解している	
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか							A	4	③	2	1	3.0	3		4	エビデンス	適合
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか							B	④	3	2	1	3.7	3.4	3.4	全員	前年度の自分の仕事を見直し、改善しようとしたか	
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか							B	4	③	2	1	3.0	3		4	エビデンス	適合
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか							B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか							B	4	③	2	1	3.0	3		3	エビデンス	適合
8	4	21	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか(モニタリング及び評価の結果を考慮して、学習サービスの改善・変更を実施しているか)							J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	4	41	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか							J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合 コメント
8	4	42	学生及び保護者等が不満を抱いている場合や、学校側と意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか							J	4	③	2	1	3.0	3		3	エビデンス	適合 コメント
8	4	43	業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応答の仕組みができていないか(苦情及び要請への対応を含む)							J	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	5	中項目	教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)																	
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか							A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合 コメント
8	5	21	自己評価結果を公開しているか							A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか							B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
⑧			努力点と課題							<ul style="list-style-type: none"> ・常に改善しようと努力している ・前年度の反省をいかせたとと思う。 ・去年のものを残してあるので、それをみて反省を生かしてより良くなるような仕事をしていきたいです。 ・学生のニーズに合わせた授業展開がまだ不足と感じている。より重点的な内容にしていきたい。 										
			関係者評価委員の意見							<ul style="list-style-type: none"> ・学生アンケートからの授業の改善計画が、急激な改善というよりも長いスパンで成果を表れているように感じる。 ・将来的に美容師免許を取得しないで、美容関係の資格等が取得できる学科やコースの増設も考えていく必要がある。 ・HPにほとんどの情報が掲載されている素晴らしい内である。多くの人に見てもらえるように工夫してほしい。 										

9 財務			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1										エビデンス						
9	1	中項目	財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか)																	
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか							A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか							A	④	3	2	1	3.6	3.0	3.0	担当者	予算書、中期計画が策定されているか	
9	2	中項目	予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか)																	
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか							A	④	3	2	1	3.6	3.0	3.0	担当者	予算書、中期計画は、理事会に提出している。	
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか							B	④	3	2	1	3.6	3.0	3.0	担当者	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っている	
9	3	中項目	監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)																	
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか							A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合

9	4	中項目	財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか)												
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合	
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	B	④	3	2	1	4.0	4		4	エビデンス	適合	
⑨			努力点と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務所の月々の監査指導に基づき適正に会計処理を行っている。 ・十分な予算管理・執行をするために、どのような工夫が必要か検討していきたい。 ・予算書は忘れずに提出することを続けていきたい。 ・決められた予算内で計画的に購入し使用できている。 											
			関係者評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし ・学生数減少傾向が強く、学生数を増やしていくことが大きな課題となってくるのが予想される。 											

10 社会貢献・地域貢献				カテゴリー	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1								エビデンス		
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)												
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	④	3	2	1	3.7	3.4	3.4	教員	4	エビデンス	適合
			<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 												
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	A	④	3	2	1	3.6	3.3	3.3	教員	4	エビデンス	適合
			<ul style="list-style-type: none"> ・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか 												
10	2	中項目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)												
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	③	2	1	3.7	4	0.8	教員	3	エビデンス	適合
			<ul style="list-style-type: none"> ・学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか 												
⑩			努力点と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学生にボランティア活動に対する理解を周知させる ・学校の教育資源や施設の活用、地域に対する公開講座・教育訓練の受託等のやり方が分からず、もう少し知る努力をしたい。 ・挨拶運動や地域のイベントに積極的に参加していると思う。 ・たくさんの外部ボランティアに参加したので、協力してくれる学生をもっと増やして行きたいです。 ・主にハロウィンメイクの参加だが、次年度も協力したい。 											
			関係者評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動等で、地元にある学校ということをもっと告知した方が良いと感じる。 ・学生のボランティア参加について、更に宣伝し工夫すると良いと思われる。 											

学校関係者評価を受けて

本年度は第三者評価を実施していくために、JAMOTEの2022モデルVer2.1SJ簡易版の外部評価項目を導入した。評価しやすい項目で評価するのではなく、多面的に学校全体を評価し直していくこととなるとの意見を頂いた。更に学校を改善していくことにつながる